

ひろば 大代

平成 5.12.6

大代公民館

この一年を振り返って

平成五年大代町の動き

|| 活力ある活性化に向かつて ||

大代公民館

1月・元旦マラソン(一般・子供)

・新年挨拶交換会(公民館で)

・大代町書き初め展

・幼小中公民館主催

・合同家庭教育研修

2月・柿田自治会 雪祭り

・大代小学校 大田市卓球大会

・女子 個人優勝 鈿 美由紀

・女子 団体優勝

3月・大代中学校卒業生激励会

4月・大代分団市消防操法大会出場

・大田市交通安全無事故無違反

運動大代町 第一位受賞

5月・子供の日 右原川辺付近で子供

の野外活動

・大代中学校 島根県中学生卓球

選手権大会

・女子シングルス優勝

三年 渡 良子

・石東地区中学校卓球大会

女子シングルス優勝

三年 渡 良子

女子ダブルス優勝

二年 角 晃子・笹木望美

6月・公民館広場に遊動円木遊具設置

7月・第三回高山地区親善相撲大会

・大代中学校

島根県総合体育大会卓球の部

女子団体 三位

8月・第八回都市とふる里を結ぶ交流

会開催(韓国歌手来町)

9月・大田市中学生弁論大会

「点字から学んだこと」

最優秀賞受賞 三年 谷口法司

・島根県中学生弁論大会

優勝賞受賞 三年 谷口法司

敬老会開催

・高山登山道下刈りと登山

町民体育大会

・大田市交通安全無事故無違反

運動 大代町 第一位受賞

10月・花と緑の明るい町づくりコンク

ール参加(大田市・島根県)

大代公民館 最優秀賞受賞

個人の部 田辺 孝氏 特別賞

・県個人の部 田辺 孝氏

模範花壇賞受賞

・同和教育研修会(幼小中公)

・ふれあい市民の集い

11月・大江高山開発委員会高山実地調

査(委員十一名)

・大代町文化祭開催

・東京石見高山会総会に有志出席

12月・歳末助け合い運動展開

・お楽しみ子供クリスマス大会

・石見地区中学生新人卓球大会

女子団体優勝 大代中二年

町づくり・地域社会形成と生涯学習

大代公民館

1、地域の活性化とはなにか

子ども、経済、安定、安心

2、ありふれた町とすぐれた町の違い

はなにか

人と発想

3、リゾートは永遠か、地域をふるい

たたす室はなにか

歴史、文化、自然

4、地域を支える人づくりは、どんな

人を育てることか

地域に生きる、地域を愛する、人と共にある。

5、学ぶことで生き残る町

現代の町づくり（すべて学習が

裏打ちに必要）

町づくりには欠かせないもの

意欲と力量

第四回人権を考える

市民の集い大田市大会

大代公民館

◎互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう

- 1、国際化社会にふさわしい人権意識を育てよう 世界人権宣言45周年
- 2、子どもの人権を考えよう
- 3、部落差別をなくそう
- 4、女性の地位を高めよう
- 5、障害者の完全参加と平等を実現しよう

この「集い」は、私たち一人ひとりが今一度、身近な生活の場において、お互いの人権について考え、意識を高め、差別のない明るい社会をみんなで作っていくことを願って開催されました。

心のふれあいの場

「大代町文化祭」

大代小学校教頭 岡 博之



秋雨降りしきる中、文化祭会場目指して車を走らせる一人の私。そして、待ちかまえていたのは、公民館前広場いっぱいには駐車している数々の車。

公民館会場で、各種展示物や作品に見入ったり、お茶を飲みながら談笑する人々。ややぎこちなさはあるものの制服姿でひたむきにうどんやコーヒーをバザー会場に運んでいる中学生。それを支える親や教職員。

外のテントでは、柿の種飛ばしに挑戦し、口をふくらませ、記録の向上に余念のないかわいらしい我が大代小の子どもたち。そしてほほえましい大人の方の姿。

広々とした体育館では、幼、小、中の作品のほか、町内各地区の方々の、趣向を凝らした傑作の数々。展示即売場では、外国の方の姿も。やがてできた、酒を酌み交わし睦まじく歓談する方々の輪。あらじ作りのお年寄りの巧みな手足。やがて始まった、熱演。熱

心に見聞きする大勢の老若男女。まさに、熱気あふれる大きな交流の場。

出雲の地から、一人で参加した私。うどん、コーヒー、焼き芋をごちそうになり、高瀬前大代中教頭先生と出会って、しばしなつかしい話。温かい声をかけていただいて格安で買い求めた見目も立派な白菜と大根。

心がふれ合い、ひびき合う楽しい大代町文化祭は、郷里を異にする私にとっても、町民の方々と同様、有意義で思い出深いものであった。

全日本自動車整備技能

競技大会に出場して

八反田 長谷和幸



去る十一月二十六、二十七日、第九回を迎えるこの大会にJ A石見銀山チーム（福岡君と共に）島根県代表として出場しました。

会場は東京晴海。参加チームは全部で二十九チームで競技内容は学科と実車とがあり、学科は自動車整備士二級程度（以上？）の問題で、実車は二時間以内に24ヶ月定期点検（車検整備）

をしなから十数ヶ所の故障設定を修理するといふものです。

競技前は緊張しましたが、まずエンジンをかけることに専念し、不良部品配線等、修理、交換してエンジンがかれば一安心。

この間にもう一人は、ブレーキを分解点検、車の下にもぐって各部点検。あつという間に二時間が過ぎて、隣のチームを見る余裕はありませんでしたが、手応え充分、結果は入賞まであと一步といふところでした。

この競技会に臨み、研修したことをこれからの仕事に生かし、クルマ社会の安全と公害防止を担う、整備士の一人として益々頑張りたいと思います。八反田の皆様、大代町の皆様、ご支援ありがとうございます。

盛年大賞受賞作品（先月号の続き）

「死ぬヒマがない」

京都市 黒瀬 繁（80才）

◎何が私をそうさせる？

このように寝食さえ忘れるほどに、さし木に熱中するのは、主として次の



理由による。

その一。大義名分としては、自分が今日あるのは、長年月にわたって社会から受けた、多大の恩恵のたまものである。その恩恵の万分の一でも社会に還元したい。

その二。放置すれば単なる有機物として朽ち果てる一本の小枝、一枚の葉から、新たな生命が誕生するという、生命の神秘、大自然の摂理というには余りにも感動的で、他の人々には何でもないことであるが、私にはたまらない魅力で、オーバーかもしれぬが、これが私の魂をとらえて放さないのである。

◎昼耕夜読

さし木に明け暮れるわが家の庭には鉢に上げた小苗だけで常時六百鉢。それに加えてツバキ、ロウバイ、ゴブシその他の庭木類が十数本と、水やり肥料、病害虫防除等々、昼間はネコの手も借りた。

このような庭仕事のほかに、あちこちの園芸教室などの講演や、テキストの原稿書き、更に多年「一日一文」をモットーに雑文書き、日記も数十年来

一日もかかさない。

それに加えて時代に取り残されまいと、新聞や新刊雑誌、植物関連の図書などを精読。

そんなわけでこれら室内行事は、雨の日か夜に限られる。

昔は晴耕雨読といったが、私の場合は「昼耕夜読」である。

何はともあれこのように、自分なりに満ち足りた日々を過ごせるのは、健康なればこそで感謝感激。

かつての戦争捕虜の暗黒時代がウソのように明るく楽しく、幸せいっぱいである。

◎ビック・イベント

今年は私の歴史の一ページに特筆すべき、うれしい事態が生じたのである。単に私だけでなく関係方面からも注目の的になっている。

わが家のモクセイに、実生後十三年目に実がたわわになったのである。

モクセイは中国原産で、どういふわけか昔から日本へはオス木だけが渡米して、その日本では結実しないというのが学界の定説で、結実した事例はほとんど耳にしない。



そこでこの実は早速府立植物園その他に進呈すると共に、わが庭にも数多くタネまきした。

ところがこのような雌雄異株の植物は、タネからオス、メスが半々くらいであるのが普通で、しかも開花結実までに長年月を必要とする。

そこでまたそろそろ木の出番である。さし木だとメス木ならメスに、そして四、五年で開花結実するのが普通である。これまで多種類のさし木をしたがモクセイは初めてなので、テストケースとして第一回を五月二十四日に、以後半月ごとに三回実施した。

その第一回分が八月十日現在、発根して来て一か月もすれば鉢上げ可能と思われる。

またまた忙しさが増幅しそうである。

自治会紹介 「下飯谷の歴史」

下飯谷 高村春美

下飯谷の自治会は大江高山の東側南麓に在って、東は祖式地区に隣接し、西は飯谷橋迄の県道沿いに又南は久具

林道入り口から私宅までの道路を含めた広範囲な集落です。

戸数は十四戸で男子十八名、女子二十二名で構成されています。

耕作面積五反未満の兼業で稲作が主体で、畜産農家も二戸あります。昔は各戸漏れなく役牛を飼って農業を営んでいたものですが！。

飯谷集会所は森脇司郎さん前に十数年前に建設され、「上飯谷、平、下飯谷」の三自治会で何事も集会をここで行っていきます。

下飯谷は大代町の新屋の地番の始まりで、即ち新屋の一番地で、高村夏雄さん所有の畠の際に「明井戸」という井戸がその一番地となっています。皆さんはご存知だったでしょうか。

又その地には「くぐり松」と言われた、くねくねと曲がった大きな松の木があり、樹齢も数百年位か、昔近隣の大名（殿さん）が参勤交替の折は、くぐり松の下を通過して江戸へ旅立ったものと伝えられています。

然し十数年前、くぐり松は河百年もの歴史の重みに耐えかねてか、或は松喰虫の侵すところとなり、この文化財

は消滅してしまいました。今は言い伝えのみ残っています。

下飯谷の歴史を考えてみました。

唱歌の旅 (十二月)

「ジングルベル」

一、走れそりよ かぜのように
雪の中を かるくはやく
わらい声を 雪にまけば
明るい光の 花になるよ
ジングルベル ジングルベル
すすが鳴る
すすのリズムに光の輪が舞う
ジングルベル ジングルベル
すすが鳴る
森に林に ひびきながら

表彰のお知らせ

平成五年十一月二十三日、大田市制施行四十周年の記念式典で、大代町関係者で表彰を受けた人は次のお方です。

◎功勞表彰

自治功勞 竹本 謙氏

民生功勞 長谷幸夫氏

◎感謝状贈呈



大田市健康体操推進協議会

会長 藤井房子氏

おめでとうございます。

健康

★風邪をひきやすい人は

ミカンの皮で体質改善を

一年に何度も風邪をひくような弱い体質の人には、ミカンの皮を利用することをすすめます。



ミカンの皮を干したものは、漢方では陳皮と呼ばれ、薬効の高いものです。カラカラに乾かしたミカンの皮を五、十個、お風呂に入れるとからだの芯まで温まり、湯冷めません。これを長期間続けると、皮膚に抵抗力が付き、風邪をひきにくくなります。また、体質改善には陳皮を常食することです。ミカンの皮の内側の白い部分をそぎ落とし、十分に乾かしてすりつぶします。これを食卓に置いて置き、みそ汁やご飯にかけて食べると風邪をひきにくい丈夫な体質になります。

◎生活のしおり

★カーテンは水につけ汚れを落とす

カーテンを洗濯する時、いきなり洗剤液につけていませんか？これでは汚れが十分に落ちません。まず、電気掃除機でホコリを吸い取り、つぎに金具を中にして適当な大きさにたたんで安全ピンでとめ、水に十五分ほどつけておきます。こうすると、ホコリやゴミが浮いてきますので、そのあとでたたんだまま、洗剤液で押し洗いすると汚れがよく落ちます。

◎クイズ(頭の体操)

映画館の中で男女のカップルがヒソヒソ話をしていたが、女性の方が急に席を立って帰ってしまった。

どうやら男性が女性のどこかにさわったらしい。どこにさわったのだろう。

★(十一月号の答 にわとり) 読んだとおりに書いてあったでしょう。

*** 十二月の行事予定 ***

◆7日(火) 婦ひまわり会役員会

◆7日(火) 高山開発十一人委員会

◆8日(水) つくし会役員会

◆8日(水) 運営委員会

◆12日(日) 福祉弁当

◆19日(日) 婦人会役員会

◆21日(火) お正月料理教室

◆25日(土) 子供クリスマス会

*** 1月の行事予定 ***

◆1日(土) 新春ウオークラリー

元旦マラソン朝六時から

◆1日(土) 新年挨拶交換会午前十時

会費二百円(当日)

皆さんの参加をお待ちしています。

おしらせ

◆大代公民館より

電気ポットを一婦人会員様から

桜の苗木と竹ぼうきを

右原 中垣土夫様から

金一封御厚志を

大阪府 中本 弘様から

上市 浅利敬様

◆社協大代支部より

上飯谷 森本光徳様

香典返しに替えて金一封の御厚志を御寄付頂き 厚く御礼申し上げます。



特集Ⅱ

「ふれあい市民

対話のつどい」の記録

去る十月二十六日（火）午後二時より四時半まで、大代公民館にて田辺館長の司会で町民六十人が参加して表記のつどいが開催された。以下はその内容である。

1、大代公民館の事務室・

調理室の増改築について

後藤婦人会長が質問。

昨年は直接この会場で言ったが今まで公民館を通じて四、五回お願いをしている。調理室の雑排水がうまく流れない。福祉弁当を作っているし食器を入れる場所がない。昭和五十五年三月にガスレンジをすえたが耐久年数はどれ位のものか。

大久保教育長の答えは具体的な見積が出て来たのが予算要求が済んだ後だったので平成五年度には実施出来なかった。この高山会館は農林省の補助事業で建設したので農林課とも相談をしてすすめたい。

2、大代公民館広場の周辺の

フェンスの取り替えについて

高村連合自治会長が質問。

既に三十年も経過し、老朽化している。ゲートボール、ソフトボール等をやっても球が出て困る。又美観上もよくない。

教育長の答えはご要望に沿った形でやっていきたい。

3、県道大田桜江線（祖式大代地区）

の改良工事促進について

高村連合自治会長が質問。

現状はどうなっているか。ダンプ公害、通勤問題等と関連してその展望は？学童の通学上、道を付けてくれと陳情が来ている。計画に乗せて貰いたい

小川建設部長の答えは県に対し重点整備路線として要望している。久利市原路線は今年度で終了する。八反田橋から大家の街迄の箇所を来年度の予算要求をしている。

4、市道久具川本線の

大代地区の舗装について

高村利乗連合副会長の質問。

川本町の境迄百六十メートルが未舗装で路面も痛んでいる。

小川建設部長の答えは既に予算化している。今年度実施する。

5、八反田川の改修について

高村貢連合自治会長が質問。

平成二年度に現地を見て頂いたが民家の裏が崩れてその下がなくなっている。擁壁を作って止めて貰わないと危険。落ちてくるものが皆流されてしまう。小川建設部長の答えは市の管理する河川は五十二河川、百五K mある。護岸改修は財政上すぐには対応出来ないのが実状だ。今後は年次計画で対応したい。十二月下旬迄の災害査定に基づいて手を付けてゆく。人家の被害、河川の氾濫等緊急な事態があればすぐやらねばならないが。

6、大江高山林道の設置方について

笹木大江高山開発十一人委員会々長が質問。高山開発の問題は毎年の様に提起している。市原議員の平成二年三月議会的一般質問で市長は農村の農産加工品の設備には応援したいとの事で

あった。すぐに出来る事は登山道の整備である。自然観察道の整備と言うことで県から六十万円を頂く事になっている。駐車場迄の舗装もせねばならない。高山の麓に林道を通せば良い環境になるのではないか。大森の仙の山の林道の様なものを作りたい。農村総合整備計画にのせて貰いたい。十月三十一日(日)の登山には商工観光課の人も参加をして現場をみて貰いたい。十一月三日は十一人委員会で大砲岩やびようぶ岩の現地調査を行う。市でも測量や調査をして貰いたい。町内で道路の要望をまとめる。

大谷経済部長の答えは地元の平素の活動に感謝申し上げたい。高山の大規模な開発は無理と思う。環境保護の面も含めて大森は林道の位置付けがしてある。大江高山の林道の位置付けが出るかどうか、現場を見て基本的に林道でいくか農道でいくか考えたい。十月三十一日の登山には一人でも二人でも登山出来る様にしたい。担当課とよく相談してみる。農村整備プランの中には大代のわさび田も入れてある。若干地元負担がかかる。この制度が十分

活用出来るかどうか地元で検討してほしい。構造改善事業の活用なども考えてみたい

7、救急医療体制について

後藤婦人会長の質問。

温泉津の分署から上る救急車は何時からか？年代別の検診に大田へ行つたがこの様な場合バスを回して貰えなにか。大代の高齢化率は三七%位と思う。祖式のお医者さんも病氣中で困る。結核検診は二百八十一名受診している。自分の父は九十三才で亡くなった。湯の郷園へ入所を申し込んだが一年先でないといけないとの返事だった。朝山にデイサービスセンターを設置すると聞いているが、西部地域のセンターを一番先に考えてほしい。

大築消防長の答えは大田から大代迄二七Kmあり温泉津からは十七Kmで時間にして十分位短縮出来る。西部分署も職員を一人増やして県の消防学校から十一月末に帰る予定で、平成六年の三月上旬に一台増えて、四月一日より実施出来る。

竹下民生部長の答えは大代の高齢化

率は現在三七、八二%である。富山町では保健所へ委託をして二日間なら二日間、公民館へ来て貰って見て貰うことを実施している。今後はこの様なことも検討してみたい。デイサービスセンターの件は西部地区に一ヶ所設置する事は決まっているが、場所や時期は未定である。

8、大代町の活性化と

市文化の拠点づくりについて

渡元文化振興室長から質問。

(1) 大家の町並み保存と活性化：

今年の三月定年退職してから毎朝犬を連れて散歩をするが「町破れて山河あり」の感を深くしている。町が荒廃している。地元では大家の町並みを保存して活性化を画りたいとの声がある。大久保教育長の答えは大田市の活性化の為に各町の活性化が必要。高山開発の問題も、町並み保存の問題も重要な問題であるので、今後更に地元の皆さんと相談をしていきたい。

(2) 史跡大家本郷庄屋遺宅

渡家を市指定文化財に

渡家は百五十二年前に建てられたが今は完全に荒廃している。文化庁の人にも視察して貰ったが、地籍は申し分のない土地であると言われた。富山の品川家、刺鹿の本和田家、祖式の金田家等も文化財である。

教育長はこの件は充分に検討をしてすすめていきたい。文化財審議委員会を通して教育委員会で最後に決める事になる。

9、大代町の生活環境整備について
渡元文化室長の質問。

(1) 県市道の早期補修と生活道（赤道等）の舗装を：ダンプが横暴である。町の中では老人や子供は危ない。江川沿いの真っすぐな道を通るべきだ。県土木が依然として放置している。市から県土木や業者に言って貰いたい。赤道は江戸時代からの生活道であるので、今年度に生コン等の材料を貰いたい。戸谷総務部長の答えはダンプの件は江川沿いを通れば一番良いが主要地方道なので、県の交通委員会の許可がいる。現状では拡張、歩道の設置を待たねばならないが相当時間がかかると思

われる。道路整備がなされる迄には、運転者のマナーを待たねばならぬと思う。自衛手段でご理解を願いたい。

(2) 植松自治会区域内の防火用水の改修
以前から消防や分団長に言っているが放置してあり予算化をして貰いたい
大築消防長の答えは溜池の件は過去にも聞いています。石垣が崩れているのも知っているが市の正式な所有物ではない。標識は掲げているし防護柵と修理はしている。当面すぐ全面的改修は出来ないがやるとすれば基礎が弱っているので全面改修になる。

1、大田市の若者定住施策について
渡元文化振興室長から質問。

(1) 文化施設（博物館、美術館）の建設
昭和四十九年度から「銀山歴史博物館」を発想し努力してきた。全国的に有名な西青雲の美術館を作ってくれと対話集会で出ている。市立の美術館構想についてどうなっているか？

市長の答えは渡氏は文化施設が消えているのではないかと言われるが、それよりも先に図書館の整備が急ぐと考え

ている。構想を取り止めた訳ではない
(2) Uターン青年の受け入れ体制と就職問題についても渡さんより質問がありました。

以上

